

2020年度一般入学試験(TEAP利用型) 記述式問題 解答

科目:2月2日 TEAP地理

1

問2 先カンブリア時代

問3 アフリカ大地溝帯(グレートリフトバレー/大地溝帯)

問5 赤道付近は熱帯収束帯と呼ばれる低圧帯であり、年間を通じて日射量が多く、活発な上昇気流が生じて多量の降水がある。熱帯収束帯で上昇した大気は中緯度側に向かい、回帰線付近で下降気流を生じるため、亜熱帯高圧帯となり、雨が少なく砂漠が広がる。

問6 沖合を流れる寒流の影響で上昇気流が生じないため。また地球の自転によって大陸の西側にしか寒流は流れないため。

2

問1 ① バレンツ 海 ② スヴァールバル 諸島

③ チュコト 半島 ④ ベーリング 海

⑤ レナ 川

問3 1 カナダ 2 アメリカ合衆国(米国)

3 デンマーク 4 ノルウェー

5 ロシア

問4 1 フィンランド 2 アイスランド

3 スウェーデン

問5 地球温暖化の影響で、北極海の氷は縮小している。これに伴い、北極海航路の利用増加や資源開発といった可能性が広がると同時に、領有権問題や環境破壊などの新たな課題も浮上している。

2020年度一般入学試験(TEAP利用型) 記述式問題 解答

科目:2月2日 TEAP地理

3

問1 道路、上下水道、学校などの施設といったインフラの未整備、無計画な開発による街並みの不統一、農地と宅地の混在による日照不良や悪臭といった環境問題が生じる。

問3 地価の下落に伴い、中央区などの都心部で高層マンションが大量に供給されたため、職住近接の生活、施設やサービスの利便性を重視する若年層などが増加した。

問4 最も高齢化率の高いJ町の空き家率は0.8%で市の平均を下回る。一方、高齢化率が低い方から三番目のP町の空き家率は1.2%で市の平均と同じである。以上から、高齢化率が高い町で空き家率が高いとは言えない。